

青少年は
地域社会から
はぐくむ
～愛のひと声運動～

みちびき

発行
福島市青少年センター
福島市青少年センター補導委員会
福島市宮下町1番15号
TEL 535-7310
FAX 535-7310

～青少年健全育成のために～ 街頭補導活動を実施しています

福島市から委嘱された補導委員123名が、青少年の非行や問題行動を未然に防ぐことを目的として、学校や駅前周辺などを中心に巡回活動を行っています。
青少年を見守り、健やかに成長できるように思いやりをもって愛の一声をかけています。

子どもたちを信じて

福島市青少年センター補導委員会



会長
佐藤 達哉

猛威を振るったコロナも令和5年5月に5類移行となりました。それと同時に今度は熱中症の心配をする日々が続くこととなりました。海外では相変わらず戦争や紛争が続き、子どもたちを含む犠牲者は日々増加していきました。また隣国からのミサイル発射はもはや日常になった感があります。国内では新年早々、大規模地震や航空機事故が発生しました。我々はいつ何時何が起きてもおかしくない時代に生きていることを思い知らされました。

「漠然とした日常の不安。誰しもが多かれ少なかれ感じていることではないでしょうか。平凡な日々。普通の生活。何気ない日常がいかに大切であるかを、今更ながら感じた年でもありました。

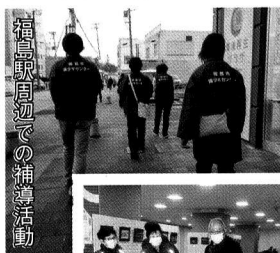
青少年を取り巻く環境はといえば、我々の子ども時代とは比べべくもありませんが、基本的に少子化・核家族化であり、ひとり親世帯も多いと聞いています。また情報化の進展に伴い、スマートフォン等の端末

からインターネット上の有害な情報へも簡単に触れることが可能となっており、青少年の意識や行動に影響を及ぼすことが懸念されています。昔は「屋外」で「集団」だったものが今では「室内」で「個人」型になっているとも言われています。引きこもり等様々な問題も発生しています。

このような中で我々補導委員は、日々街なかを巡回し機会を捉えては子どもたちに声かけを行っています。「こんにちは」「気をつけてね」明るいう未来を信じて、子どもたちを信じて、今後も活動して参ります。

通常補導活動

学校周辺のほか福島駅前の娯楽施設やアオウゼ、こむこむなど学校帰りに子どもたちが集まりそうなところを重点的に巡回しています。道行く子どもたちに「気をつけて帰るんだよ」など愛の一声をかけています。夜間には自転車の灯火指導も行っています。



環境浄化活動

青少年の目に触れさせたくない成人向け雑誌などを回収するため、福島駅など市内6か所に白ポストを設置し、定期的に回収・処分を行っています。青少年健全育成のための環境を整えることも補導委員の活動の一つです。



特別補導活動



お祭りやイベントの際に会場周辺の巡回を行います。令和5年は、4年ぶりに通常開催された「花火大会」・「わらじ祭り」・「福島稲荷神社秋の例大祭」の時に補導活動を行いました。露店の陰や、暗がりでの不健全な状況はないか？子どもたちに声をかけながらの補導活動です。

警察官・PTA・教職員など、様々な立場の方々が子どもたちの安全のため活動していることを再確認し、我々もその一助となればという気持ちで頑張っています。